

Business Report 2013

 **create** restaurants group

第16期 報告書

2012.3.1 - 2013.2.28

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス

証券コード：3387

更なる成長のステージへ

事業環境

当連結会計年度におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要を背景とした堅調な国内需要のもと、緩やかな回復傾向が続く一方で、欧米の財政問題、新興国経済の減速等の懸念材料は残り、先行きは不透明な状況が続いておりました。そのような中、昨年12月の政権交代に伴う経済政策への期待から円安及び株価上昇の動きが見られ、景気浮揚の期待感も高まり明るい兆しが見え始めました。

外食産業におきましては、消費者の節約志向の継続や、低価格販売競争の継続等、厳しい経営環境が続いているものの、消費者マインドの改善に伴う個人消費の緩やかな増加が見られました。

平成25年2月期の業績

当連結会計年度におきましては、当社グループは、営業組織体制の変更等によりブランド力強化に注力し、既存店舗の競争力を向上させるとともに、効率的な人員配置の継続や、店舗へのLED照明導入等のコストコントロールを実施し、収益力の向上に取り組んでまいりました。

一方、厳選立地による成功確度の高い出店や、収益構造の改善を図るべく業態変更及び撤退の迅速な判断を行い、グループ全体で72店舗の新規出店、47店舗の撤退を実施した結果、当連結会計年度末の総店舗数は381店舗（前連結会計年度比25店舗増）となりました。

なお、当社は、平成24年3月1日付で株式会社ルモンデグルメの全株式を取得し、連結子会社としております。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は37,167百万円（前連結会計年度比7.3%増）、営業利益2,693百万円（前連結会計年度比0.8%減）、経常利益2,827百万円（前連結会計年度比20.5%減）、当期純利益1,317百万円（前連結会計年度比0.2%増）となりました。

将来的な市場変更を視野に

将来的な市場変更を見据え、流通株式比率の向上を目的として、平成24年9月5日付で、筆頭株主である三菱商事株式会社より、同社が所有する当社株式のすべてである6,290,000株を、自己株式の公開買付けにより取得いたしました。また、同年9月28日付で、取得した自己株式のうち4,790,094株の消却を実施いたしました。

株主優待制度の新設

当事業年度末日を最初の基準日として、株主優待制度を新設いたしました。投資魅力を高め、また、当社の事業をより一層ご理解いただけるよう、毎年2月末日及び8月末日を基準日として、年2回当社グループ店舗にてお使いいただけるお食事券を贈呈いたします。

今後の事業環境と当社の経営方針について

日本国内の経済状況は、経済政策や円安を背景とした景気浮揚への期待感はあるものの、世界経済の動向に左右される先

行き不透明な状況に伴い、予断の許さない状況が継続するものと思われま

す。外食業界におきましても、緩やかな回復傾向は続くものの、同業他社による低価格競争の継続や食材価格の上昇等が懸念され、今後も厳しい経営環境が続くと予想されます。

このような環境のなか、当社グループは、マルチブランド・マルチロケーション戦略を更に進化させるべく、今まで培ってきた経験・ノウハウを活かし、出店立地を厳選して絞り込んだ出店をしつつ、既存の経営資源を最大限に活用してまいります。また、平成25年4月30日付で実施いたしました資本提携により、新たにSFPダイニング株式会社及びイトウォークグループが当社のグループ企業となりました。今後は、グループ経営体制への移行を推進し、競争力を強化することにより、新たな成長ステージにてグループ一丸となって企業価値の向上に努めてまいります。

2013年5月

代表取締役社長 岡本 晴彦



〈クリエイティブ・レストランツグループのミッション〉

私たちは、常にお客様と共にあります。

常にお客様への感謝の気持ちを持ち、プロとしてのサービス・料理・空間を提供することで、お客様から末永い信頼を頂くことが、私たちの喜びです。

そのために私たちは、目の前の小さなアイデアを大切に、常にスピードをもって、クリエイティブにチャレンジし、戦略的かつ科学的にマルチブランド経営を進化させ、世界で最も競争力のあるレストランサービス企業を目指します。

マルチブランド・マルチロケーションとは？

マルチブランド・マルチロケーション戦略とは、予め集客の見込める好立地に、各立地の特性や顧客層を見極めた上で、最適な業態（ブランド）、即ちカジュアルレストランからファインダイニング、一括運営のフードコート等を開発・運営し、展開を図るビジネスモデルです。

当社グループは、マルチブランド・マルチロケーション戦略に基づき、お客様のニーズに的確にお応えすると同時に、魅力のあるテナントを誘致・集積し、商業施設全体の価値向上を目指すデベロッパーに対し、施設の集客にとって有効な提案を行うという観点からも、業態開発力の向上に注力してまいりました。

当社グループの強みは、このようなマルチブランド・マルチロケーション戦略により培われてきた、①クリエイション力、②オペレーション力、③マネジメント力であり、これらの強み、競争力を発揮し、今後も企業価値の持続的な向上を図ってまいります。

①クリエイション力

私たちは、単一ブランド運営では決して得ることのできない、多業態運営ならではのノウハウにより、ライフスタイルの変化によるニーズの多様化に対応し、社内で蓄積した様々なレストランオペレーションのデータを科学的に分析することで、時代にマッチした新たなブランドを創造しています。クリエイティブかつスピーディな業態開発力は、当社グループの大きな強みの一つです。

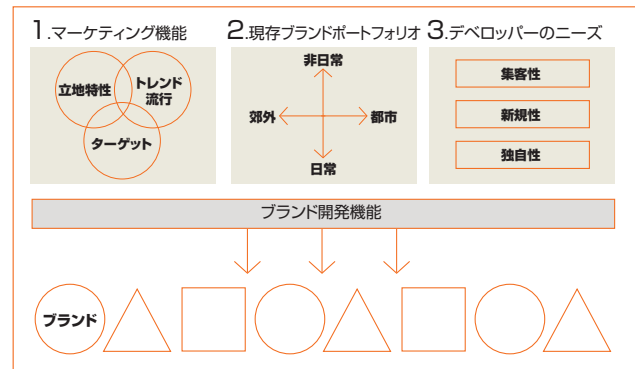
②オペレーション力

当社グループの店舗運営は、業態・店舗毎に高い独自性を求められ、各々の現場において創意工夫をすることが重要です。その為、全てをマニュアル化するのではなく、個別の商況等の変化に柔軟に対応できる仕組みにしております。現場においてお客様やデベロッパーのニーズに対する仮説と検証を繰り返し行うことで身に付いた、立地特性に応じた最適なオペレーションが、マルチブランド経営を進化させています。

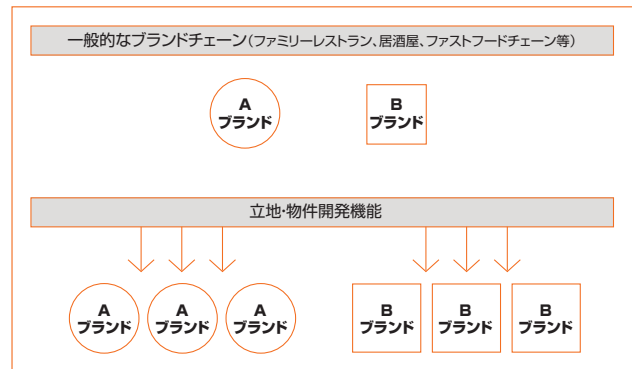
③マネジメント力

単業態を展開するビジネスモデルとは異なり、業態自体の陳腐化や、立地特性と業態の乖離、メニューが特定食材に依存するといったことに伴うリスクの分散・低減を図ることができるのは、大きな強みであります。また、様々な業態を開発・運営することにより蓄積されてきた店舗運営や損益に係る高度な管理ノウハウを活用したマネジメントが、マルチブランド経営を支えています。

- マルチブランド・マルチロケーション戦略による店舗展開 (当社グループ)
→立地特性や客層を見極め、最適なブランドを開発して出店



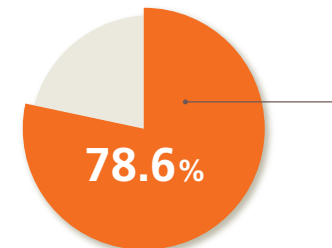
- 一般的なチェーン店舗展開 (ファミリーレストラン、居酒屋、ファストフードチェーン等)
→既存のブランドを出店



事業別の概要

Restaurant レストラン事業

売上高 29,169百万円
店舗数 225店



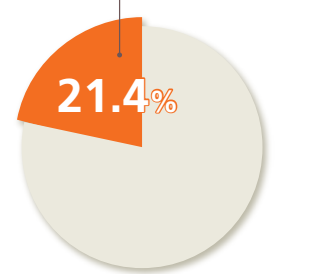
和食、洋食、中華、エスニック…。時代の流れやお客様のニーズを的確に捉えて、業態開発に力を入れております。



「マルチブランド・マルチロケーション戦略」のもと、ライフスタイルの変化によるニーズの多様化に対応し、和食、洋食、中華、エスニック等、多種多様な店舗を開発し、全て直営にて展開しております。代表的なブランドとしては、自然食バイキングの「はーべすと」、高級寿司食べ放題の「雛鮭」、総合バイキングの「太陽のごちそう」、イタリアンの「portofino」、飲茶バイキングの「香港蒸籠」、しゃぶしゃぶ・日本料理の「吉祥」等がございます。当事業年度においても、大型ビュッフェの「馳走三昧(チソウザンマイ)」や「OCEAN CLUB BUFFET(オーシャンクラブビュッフェ)」等をオープンし、レストラン事業の店舗数は225店舗、売上高は29,169百万円となりました。

Food Court フードコート事業

売上高 7,922百万円
店舗数 156店



蓄積された経験・ノウハウのもと、多様なフードコートを展開。料理ジャンルの異なる複数の店舗(ブース)をトータルに運営する一括オペレーションフードコートにも取り組んでおります。



当社グループはレストラン事業で培ったノウハウを活用し、ラーメン、パスタ、ピザ、うどんといったお食事ももとより、クレープやタピオカドリンクといったデザート等、多様なフードコート店舗(ブース)を展開しています。さらに、複数のフードコート店舗(ブース)を当社グループのみで運営する一括オペレーションフードコートにも注力しており、効率的なオペレーションと統一感のある雰囲気、で新しいフードコートスタイルを提案しております。現在、一括オペレーションフードコートの展開は全国で13ヶ所にのぼり、御殿場プレミアムアウトレットモール内に11店舗からなる「フードバザール御殿場」、阪急西宮ガーデンズに11店舗からなる「GARDEN FOODCOURT」を展開しており、また、当事業年度におきましては、新東名高速道路(下り線)浜松サービスエリア「NEOPASA浜松」内に4店舗をオープンいたしました。当事業年度末におけるフードコート事業の店舗数は156店舗、売上高は7,922百万円となりました。

国内新店情報

上野恩賜公園内に 「上野の森PARK SIDE CAFÉ」をオープンしました。

2012年4月18日、上野恩賜公園内に、「上野の森PARK SIDE CAFÉ（パークサイドカフェ）」をオープンいたしました。こちらは、「野菜の持ち味や旨みを最大限に活かす」をコンセプトに、厳選した旬野菜をたっぷり使用したオープンサンド、パスタやフレッシュハーブティ等を楽しめる、「癒し」をテーマにしたカフェレストランです。自然に囲まれたやわらかな空間で体と心に癒しの効果をもたらします。



東京ソラマチ内にイタリアンレストラン 「VIVA NAPOLI（ビバ ナポリ）」をオープンしました。



2012年5月19日、東京スカイツリーに直結した商業施設「東京ソラマチ」内に、石窯で焼いた自慢の本格ナポリピッツァと、厳選素材を使用したパスタ料理が楽しめるイタリアンレストラン「VIVA NAPOLI（ビバ ナポリ）」をオープンしました。

店内は、広い窓から差し込む陽光が明るく開放的な雰囲気を醸し出し、夜は眼前に広がる夜景を眺めながらお料理をご堪能いただけるほか、お天気の良い日はテラス席でのお食事もお楽しみいただけます。

海外新店情報

シンガポールにおきまして、和食レストラン 「HIFUMI（一二味）」をオープンしました。

2012年10月29日、シンガポールにおきまして、オーチャード地区の商業施設「プラザシンガプーラ」内に惣菜バー&和定食を提供するレストラン「HIFUMI（一二味）」をオープンしました。和食の中でも「伝統的な家庭の味」を楽しめる定食メニューを15種類ご用意。定食には、ご飯・お味噌汁、さらに常時10種類以上のサラダ、お惣菜が食べ放題の「惣菜バー」もついであり、健康志向が高い女性客を中心に、ご好評をいただいております。



香港におきまして、抹茶カフェ 「MACCHA HOUSE（抹茶館）」をオープンしました。

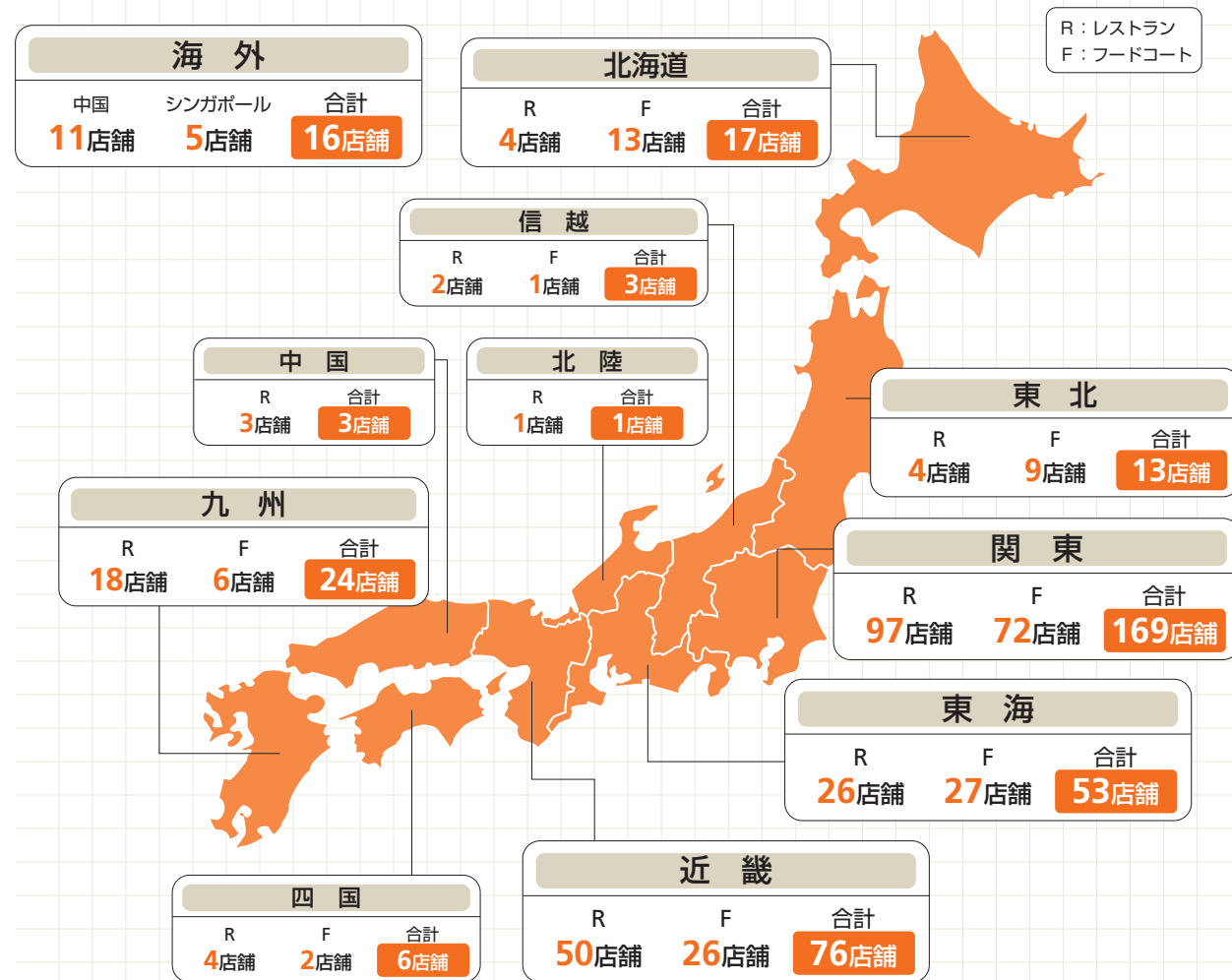
2012年11月、香港の商業施設「TMTプラザ」、「プラザハリウッド」内に、抹茶のスイーツやドリンクと和食をお楽しみいただける「MACCHA HOUSE（抹茶館）」をそれぞれオープンしました。昔から伝わる伝統の味「抹茶」。進化し続ける味「MACCHA」。香りはすっきりとさわやか。そしてほんのり苦くまろやかな旨味。数百年以上の歴史を持ち、廃れず今もなおひきつけられる日本の味をお楽しみいただけます。



国内外に134ブランド、381店舗を展開

当社グループは「スピード」「クリエイティブ」「チャレンジ」を基本理念に、多彩な業態開発による店舗展開を行っております。当連結会計年度においては、国内外で72店舗の出店を行いました。

平成25年2月末現在、当社グループが運営する店舗は、国内365店舗（レストラン209、フードコート156）、海外16店舗（レストラン16）となっております。



平成25年4月30日付で、SFPダイニング株式会社、イトウォークグループとの資本提携を実施しました。

平成25年4月30日付で、SFPダイニング株式会社、イトウォークグループとの資本提携を実施しました。

SFPダイニング株式会社は、手羽先唐揚、鶏料理専門店の「鳥良」や、新鮮魚介類の浜焼きを提供する「磯丸水産」を主力ブランドとする居酒屋を、繁華街の路面立地に展開しております。

イトウォークグループは、全国各地の契約農家から届くこだわり野菜をベースに、パスタを中心とするイタリアンレストラン「AWkitchen」、野菜居酒屋「やさい家めい」等を、商業施設内にて展開しております。

新たな成長エンジンを獲得し、グループ経営を推進することで、ブランド競争力の強化、国内外への出店機会の拡大を図り、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

SFPダイニング株式会社

事業内容：「鳥良」「磯丸水産」等ブランドの居酒屋、レストランの展開

代表取締役社長：佐藤 誠

店舗数：86店舗（平成25年2月末現在）

売上高：13,773百万円



イトウォークグループ

事業内容：「AWkitchen」「やさい家めい」等ブランドのレストランの展開

代表取締役社長：渡邊 明

店舗数：22店舗（平成25年2月末現在）

売上高：2,293百万円



平成25年4月30日現在、クリエイト・レストランツグループ全体で店舗数は502店舗（国内483店舗、海外19店舗）、ブランド数は152ブランドになりました。

Consolidated Financial Statements

●貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 2013年2月28日現在
流動資産	7,991
固定資産	11,055
有形固定資産	7,773
無形固定資産	94
投資その他の資産	3,188
資産合計	19,047
流動負債	6,373
固定負債	8,929
負債合計	15,303
株主資本	3,587
資本金	1,012
資本剰余金	1,224
利益剰余金	2,168
自己株式	△ 817
その他の包括利益累計額	157
純資産合計	3,744
負債純資産合計	19,047

●損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 自2012年3月 1日 至2013年2月28日
売上高	37,167
売上原価	10,087
売上総利益	27,079
販売費及び一般管理費	24,385
営業利益	2,693
営業外収益	236
営業外費用	102
経常利益	2,827
特別損失	233
税金等調整前当期純利益	2,593
法人税、住民税及び事業税	1,151
法人税等調整額	124
少数株主損益調整前当期純利益	1,317
当期純利益	1,317

●キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 自2012年3月 1日 至2013年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	445
現金及び現金同等物に係る換算差額	96
現金及び現金同等物の増減額	1,535
現金及び現金同等物の期首残高	3,808
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	305
現金及び現金同等物の期末残高	5,649

●株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自2012年3月1日 至2013年2月28日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2012年3月1日 残高	1,012	1,224	3,921	△ 0	6,157	0	△ 30	△ 30	6,127
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 382		△ 382				△ 382
当期純利益			1,317		1,317				1,317
連結範囲の変動			△ 76		△ 76				△ 76
自己株式の取得				△ 3,428	△ 3,428				△ 3,428
自己株式の消却			△ 2,610	2,610	—				—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 0	187	187	187
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 1,752	△ 817	△ 2,570	△ 0	187	187	△ 2,382
2013年2月28日 残高	1,012	1,224	2,168	△ 817	3,587	0	156	157	3,744

Corporate Data

株式の状況

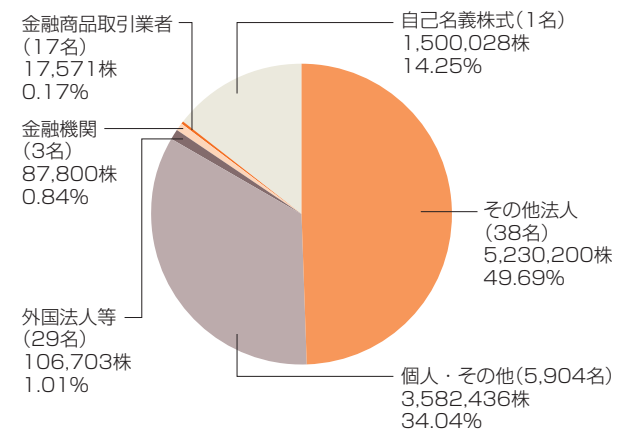
発行可能株式総数	63,600千株
発行済株式の総数	10,524千株
株主数	5,992名

大株主(上位10名)

株 主 名	所有株式数	持 株 比 率
株式会社後藤国際商業研究所	4,907,000 株	54.37%
後藤 仁史	458,500	5.08
岡本 晴彦	315,300	3.49
株式会社ユリッサ	298,000	3.30
川井 潤	150,000	1.66
従業員持株会	108,500	1.20
岡本 梨紗子	98,000	1.08
岡本 侑里子	98,000	1.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	72,800	0.80
田中 孝和	60,000	0.66

(注) 1. 当社は、自己株式(1,500,028株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



会社概要

商 号	株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
本 社	東京都品川区東五反田 5-10-18
創 業	1999年5月
資 本 金	1,012百万円
従 業 員 数	1,325名(連結ベース)
事 業 内 容	お客様のニーズにあった多様なレストランを創造し、これを多様な立地に展開すること



役 員 (平成25年5月29日現在)

代表取締役会長	後 藤 仁 史
代表取締役社長	岡 本 晴 彦
専 務 取 締 役	川 井 潤
取 締 役	田 中 孝 和
取 締 役	島 村 彰
監査役(常勤)	森 本 裕 文
監査役(社外)	根 本 博 史
監査役(社外)	大 木 丈 史

■株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 2月末日の翌日から3ヶ月以内
 基準日 毎年2月末日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
 中間配当金 8月31日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話0120-232-711 (フリーダイヤル)

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内

■贈呈内容

- 以下の区分により当社グループ店舗にてお使いいただける株主様ご優待券を年2回贈呈いたします。

基準日	2月末日	8月末日
贈呈時期	6月上旬頃	11月中旬頃
所有株式数	100株以上 500株未満	お食事券 3,000円分 お食事券 3,000円分
	500株以上 1,000株未満	お食事券 15,000円分 お食事券 15,000円分
	1,000株以上	お食事券 30,000円分 お食事券 30,000円分

■有効期限

- 2月末日基準の株主様：同年11月30日まで
- 8月末日基準の株主様：翌年5月31日まで

HomePage Information

ホームページのご案内

当社グループのホームページでは、第16期報告書ではお伝えしきれない、最新のトピックス、業態ごとの店舗情報、IR情報や今後の戦略等、様々な情報が掲載されています。当社グループに対する理解をより深めていただくツールとして、是非ご利用ください。



<http://www.createrestaurants.com/>

株式会社クリエイイト・レストランツ・ホールディングス

東京都品川区東五反田 5-10-18
 03-5488-8001 (代表)

ホールディングスサイト <http://www.createrestaurants.com/>
 グループサイト <http://www.create-restaurants.co.jp/>

